



「水を科学」し続け30年超のフロントランナー 飲用から医療・農業の新分野、グローバル展開へ

国内におけるウォータービジネスの先駆者であり、整水器のトップシェアを誇るのが株式会社日本トリムだ。おいしくて科学的にも体によい同社の水は、飲料水としてはもちろん、医療や農業の分野からも期待が寄せられている。同社の軌跡と今後の事業展開について、森澤 紳勝代表取締役社長が語った。

科学的な根拠を基に「電解水素水」を開発

お金を払って水を買う……。現任では当たり前なことだが、30年以上前の日本ではこうした意識は考えられなかった。

「1982年の設立当時は、水に付加価値を求めるといふ認識はない時代でした。当社はいち早く水の持つ機能に着目し、『おいしくて体によい水』を開発。以来、水一筋に歩んで参りました」（森澤社長）

国民の健康福祉に役立つことを使命として歩んできた同社の軌跡は、フロントランナーとしてウォータービジネス業界を創造し、牽引するとともに、水に関する意識の改革をもたらした。

「当社の整水器のユーザーが増えるにつれ、多くのお客様から様々な『体によい』というお声をいただき、当社の電解水素水※には画期的な

機能があると分かってきました。しかし、ただ『体によい』といくらアピールしても信頼は得られません。むしろ、疑わしいというイメージが先行してしまっているのです。そこで当社は科学的なエビデンスが不可欠と考

え、有用性の明確な根拠の解明に取り組んできました」（森澤社長）

※電解質を含んだ水に電流を流すと、酸化還元反応が起こる。このときマイナス極側に生成されるのが電解水素水（還元水）。

東証一部に上場を果たし 家電スタイルの製品投入

国内の研究機関は当初、同社からの働きかけにもなかなか目を向けなかったという。

「先行したのは海外の大学でした。台湾大学の研究で、当社の電解水素水は病気や老化の原因になると言われる活性酸素を抑制することが分かったのです。以来、ノーベル賞で著名なスウェーデンのカロリンスカ研究所をはじめとする世界有

数の研究機関や、国内の国立大学と産学共同研究を進め、多くの成果を国際学術誌に論文発表してきました。水研究では世界の最先端を走っていると自負しています」（森澤社長）

現在、薬事法に規定された医療機器として認証されている同社の製品は、胃腸症状を改善する効果が認められている。

2004年には業界のトップランナーとして東証一部に上場を果たした。

「創業以来の夢でした。無借金経

営を続けている当社にとって、上場は資金調達の円滑化よりも、企業としての社会的な信頼をいただき、多くの方に広く認知されるための好機でした」（森澤社長）

2010年には、よりコンパクトでデザインも優れた「トリムイオンNEO」を発売した。

「高品質な電解水素水をより多くの方に使っていただきたいという願いから、家電を意識したスマートなデザインで低価格な製品を発売し、好評をいただいています」（森澤社長）



株式会社日本トリム 代表取締役社長
森澤 紳勝（もりさわ・しんかつ）
[本社]〒531-0076 大阪市北区大淀中1-8-34
電話 06-6456-4600(代)
設立:1982年
代表取締役社長:森澤 紳勝
事業内容:電解水素水整水器及びカートリッジ等の製品開発、製造、及び販売。ポトルドウォーターの製造販売、電解水素水の研究開発。

医療・農業の新分野や 海外への積極展開を目指す

同社は家庭用の電解水素水整水器の拡販に努めるとともに、医療や農業分野にも電解水素水の利用を働きかけている。

活用することができ、新規産業として将来性が大きく期待されています。医療では血液透析時に透析液の希釈液として応用すること

意データを得意です。さらに抗酸化成分を多く含んだおいしい野菜ができます。今後は『還元野菜』のブランドで販売する方針です」（森澤社長）

「世界が認めた同社の製品は、国内だけでなく海外でも注目されている。既にインドネシア、中国、台湾な



ウォーターヘルスケアという、新習慣。

株式会社日本トリム

0120-390-460 受付時間/9:00~18:00(土日祝日を除く)

<http://www.nihon-trim.co.jp/>

日本トリム公式Facebook
<https://www.facebook.com/NihonTrimCoLtd>

日本トリム公式Twitter
https://twitter.com/nihon_trim

トリムタウン

検索

<http://www.trimtown.jp>